

平成28年度 国立吉備青少年自然の家教育事業

「教員のための効果的な体験活動のすすめ方」学級経営に生かす体験活動研修会

1. 事業の目的(趣旨・ねらい)

教員が体験活動の意義について理解するとともに、学級での仲間づくりに体験活動を取り入れる方法を講義や実習を通して習得する。

2. 事業の概要

(1) 期 日

平成28年8月22日(月)日帰り

(2) 参加者

① 募集対象

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教諭 40人

教員10年経験者研修の「発展研修」の該当者を優先する。

(ただし、岡山市、倉敷市の小学校、中学校、中央教育学校を除く)

② 参加人数

5名

(3) 企画・運営のポイント

① 10年経験者研修の「発展研修」に対応することで、体験活動の重要性・効果を体験的に学んでもらい、持ち帰ったものを現場で生かせるように内容を設定した。

② コミュニケーション能力の向上により、自己肯定感やクラス内の雰囲気づくりに役立つ指導法に基づいて学んでもらった。

3. 活動の内容等

(1) 予定・内容

時間	内容
9:00	受付
9:15	開講式 学級活動に生かす体験活動① 【内容】体験活動プログラムの導入を習得するための実習。アイスブレイクを中心とした実習。
10:30	体験活動の意義について 【内容】子どもの状況を踏まえ、体験活動の必要性和教育効果に関する講義。
11:30	昼食
12:30	学級活動に生かす体験活動② 【内容】子ども同士、教師・子どもの関係を円滑にするための学校でも可能な課題解決ゲームを中心とした実習。
14:20	休憩
14:30	学級活動に生かす体験活動③ 【内容】国立吉備青少年自然の家の施設を利用した課題解決ゲームの実習。これまでの教育実践と研修での学びをふりかえりながらのまとめ。
16:15	閉講式

(2) 活動の状況



【講義】



【実習】



【課題解決ゲーム】



【ふりかえり】

4. 成果・課題

(1) 満足度

満足：100%

(2) 参加者の声（原文そのまま）

- ① 初めて顔を合わせた人たちと楽しく、意識の高いチームを作ることができました。職場に戻っても今日の内容を活かして生徒だけでなく組織のブラッシュアップにも活用できそうです。
- ② 実際に体験しながら学ぶことも、短時間で活動していくこともよかったです。なにより、こんなに振り返りに意味があると体感したのは初めてです。くろっちやじゅんさんの話が巧みなものもありますが、何より人柄があたたかくて、人として尊敬しましたし、こんな人になりたいと思いました。周りを見て、人を助けたり支えられる人を意識して、これからもがんばっていきます！！みんながまとまっていく過程を体感させていただき、本当にありがとうございました。

(3) 成果

- ① 参加者の欲しているものを確認した上でそれに合った内容を提供することができた。
- ② 学級経営に生かしていきたいという思いをもってもらえた。

(4) 課題

10年次研修という事で分母が少ないということから、利用者数が増えない現状がある。10年研修にとどまらず広く広報していきたい。

担当：企画指導専門職付主任 黒田 雅秀